

令和4年(2022年) 7月26日(火) 13930号



# 株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL: 06-6353-7831  
 FAX: 06-6353-7832  
 MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankanzoku.co.jp  
 WEB: https://home.nikkankanzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



## 鉛建値は6,000円引き上げ

### 33万6,000円

#### 7月の月内建値平均は33万600円

三菱マテリアルは25日、電気鉛建値を6,000円引き上げの33万6,000円にすると発表、同日より実施した。7月の月内建値平均は33万600円。

23日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は2,005.00ドル。25日の東京市場の米ドルTTSレートは137.63円。この値で換算した採算価格は、27万5,900円。建値と採算価

格から見た諸掛りは6万100円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

#### 2022年

2月	318(1)	315(7)	327(15)	平均321.7	
3月	336(1)	342(7)	327(15)	345(28)	平均336.0
4月	357(1)	360(11)	375(19)	372(25)	平均364.5
5月	357(2)	339(11)	327(19)		平均337.1
6月	342(1)	357(8)	336(16)		平均343.1
7月	324(1)	333(8)	330(14)	336(25)	平均330.6

## 非鉄金属市況・需給動向6月

### 銅など3鉱種とも下落傾向

#### JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)はこのほど、6月のベースメタル市況動向などを公表した。世界経済の後退による需要減退懸念と米ドル高などから全面的に価格が圧迫され、3鉱種とも下落傾向となった。

#### ①世界経済後退懸念が価格を支配、月を通して3鉱種とも下落傾向：

銅は9,455.0US\$/t、亜鉛は3,896.0US\$/t、ニッケルは27,710US\$/tで始まった。ユーロ圏CPIが対前年同月比8.1%増となりECBが0.25ポイント利上げを表明したほか、5月米CPIが同8.6%と40年ぶりの高値、および5月米PPIが同10.8%増となり、FRBが0.75ポイント利上げを行う、スイス中銀が15年ぶりに0.5ポイントの利上げを行うなど、世界各国経済指標がインフレを示唆、インフレ抑制のため経済成長

を犠牲とした利上げが相次いだ。加えて6月製造業PMI(購買担当者景気指数)速報値が米国は52.4、ユーロ圏は52.0と2年ぶりの低水準となるなど、弱い景気動向指標が見られた。20年ぶりの米ドル高も影響し、月末の価格は、銅が8,245.5US\$/t、亜鉛が3,251.0US\$/tと当年最安値を付け、ニッケルも23,100US\$/tと下落して越月した。

#### ②中国上海におけるロックダウン解除、価格に対する影響は限定的：

1日、上海で2か月間続いたロックダウンが解除された。低迷する経済挺入れ景気刺激策への期待が高まって月初は価格が上昇し、亜鉛・ニッケルは6日に3,913US\$/t、29,400US\$/t、銅は8日に9,692US\$/tとなる当月最高値を付けた。5月の経済指標は、鉱工業生産が対前年同月比0.7%増(4月：2.9%減)、小売売上高が同6.7%減(4月：11.1%減)となったほか、工業生産が同0.7%増、貿易黒字が対前月比54%増と予想以上の回復を示し、小幅な価格上昇も散見された。一方、依然ゼロコロナ政策は続いており、断続的に強化される規制が市場を混乱させ、経済(次頁へ)



回復を阻害するという見方が大半で、大幅な価格上昇材料とはならなかった。

③下落傾向はあるも供給不安材料は多く、依然価格は高止まり：

当月見られた価格下落傾向は、需要減退懸念が供給懸念を上回っていたためという見方が強いが、潜在する供給不安と低水準の在庫により、未だ価格は高値圏を推移している。銅に関しては、5月31日にチリLos Pelambres鉱山で地下パイプライン漏水があり6月27日まで操

業停止したこと、ペルーLas Bambas鉱山で住民との衝突により6月11日まで操業停止したことに加え、チリCODELCOが6月17日にVentanas銅製錬所の閉鎖準備を行うことを決定したことに対し、6月22日に労働者のストライキが発生している。亜鉛は、在庫が一時2年ぶりに80千tを下回ったほか、15日にはNord Stream1パイプラインによるロシアからの天然ガス供給が削減され、欧州での電力価格が再上昇した。

台湾・湖口工場に新棟建設

貴金属リサイクル域内完結へ

田中貴金属

田中貴金属工業株式会社(田中浩一朗社長)はこのほど、台湾における貴金属リサイクルのワンストップ化と事業拡大のため、台湾・新竹県の湖口工場に新棟を建設すると発表した。約35億円を投資し、2026年までに事業



湖口工場新棟完成予想パース

を拡大。貴金属材料を安定的に供給するとともに、半導体市場で大きなシェアを持つ台湾半導体産業への実績拡大もねらいとしている。

台湾田中貴金属工業股份有限公司湖口工場の新棟で、地下1階、地上8階、延べ床約8,300平方メートル。工場全体の床面積は約6倍になる。事業は貴金属工業製品の製造、貴金属の回収・精製で、稼働は2025年上期の予定。

台湾田中貴金属工業は2005年の湖口工場設立以来、台湾内での貴金属回収・精製事業を展開。近年の半導体需要の高まりや、世界的な流れとなりつつある環境負荷低減・サステナブルな材料製品ニーズの増加により、台湾での貴金属リサイクル事業を推進することとした。新棟設立により、同事業を台湾内の台湾田中貴金属工業のみで完結させることを目指す。また、貴金属めっき廃液やプロダクションスクラップ、自動車・石油化学系使用済み触媒などの貴金属を高回収率でリサイクル、高純度に精製して返却することが可能に。全工程を台湾内で完結させることにより、輸出入工程の削減も図れるという。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス  
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

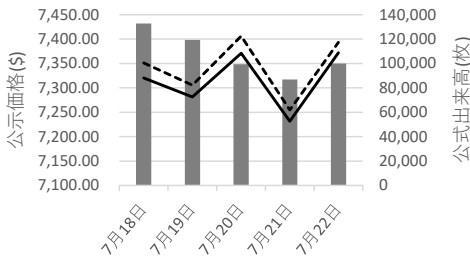
代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30

TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公式値週間推移 7月18日~7月22日(現地)

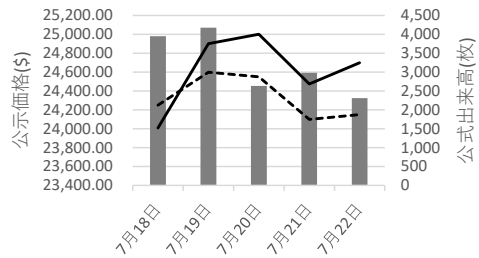
LME銅AG



	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	7月22日
出来高	132,646	119,254	99,444	86,874	99,939
直物	7,320.00	7,281.50	7,371.00	7,231.50	7,372.00
先物	7,351.00	7,305.50	7,406.00	7,255.00	7,393.00

出来高 直物 先物

LME錫HG



	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	7月22日
出来高	3,954	4,176	2,633	2,985	2,312
直物	24,010.00	24,900.00	25,000.00	24,475.00	24,700.00
先物	24,250.00	24,600.00	24,550.00	24,100.00	24,150.00

出来高 直物 先物

※ 7月22日の出来高は速報値です。



アルミ缶リサイクル協会 (057)

再生利用で全国世帯15日分の省電力  
～リサイクル率過去2番目に～

アルミ缶リサイクル協会（花房達也理事長、東京都豊島区）がこのほど公表した2021年度飲料用アルミ缶リサイクル結果のうち、国内で再生利用された245,262トンはボーキサイトから地金を造るエネルギーとして電力量換算すると73億kWhに達し、全国5,583万世帯の15日分の使用電力量に相当することが明らかになった。電力逼迫が深刻なだけに、アルミ缶リサイクルとともに節電アクションへのアピール材料にもなりそう。また過去10年間のリサイクル率などもまとめて公表した。

◆アルミ缶消費は217.8億缶

調査結果によると、国内アルミ缶消費重量は330,596トン＝217.8億缶で国内アルミ缶再生利用重量は245,262トン＝161.0億缶。ボーキサイトから新たに地金を造る場合、1トン当りのエネルギーは107.07kMJのため263億MJのエネルギーの節約となる。電力量に換算すると73億kWhとなり、全国の世帯数の約15日分の使用電力量に相当する結果となった（1世帯1か月平均電力消費量は248kWh：16年）。

日本のアルミ缶需要量



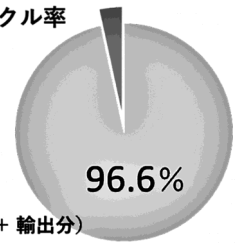
◆アルミ缶リサイクル率96.6%

リサイクル率は、国内で消費されたアルミ缶のうち国内で再生利用された使用済みアルミ缶（UBC）と輸出されたUBCを含めたものの割合。アルミ缶の国内循環を旨としリサイクル率を「国内での再生利用率」という定義で2014年度まで集計したが、UBCの輸出量の増加に伴い、アルミ缶の輸出量に占めるUBC量が15年から輸出通関統計量として把握できるようになり、15年度から「国内で回収されたUBC全体（輸出量を含む）の再生利用率」としている。

21年度は、国内と輸出の再生利用重量はそれぞれ245,262トン、73,953トンで計319,215トン＝209.6億缶。一方、国内消費重量は330,596トンとなり、計算式＝再生利用重量319,215トン／国内消費重量330,596トンで＝96.6%となった。前年20年度の94.0%を上回り、過去10年間で19年度の97.9%に次ぐ2番目の高さとなった。

また、国内循環量でのリサイクル率は、国内消費アルミ缶のうち国内で再生利用されたUBCの割合で、計算式＝国

リサイクル率



再生利用重量（国内分 + 輸出分）

319,215<sup>トン</sup> 245,262 + 73,953

消費重量

330,596<sup>トン</sup>

= 96.6%

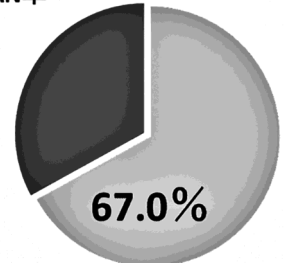
<2020年度94.0% >

国内再生利用重量245,262 トン／国内消費重量330,596トンで＝74.2%だった。これも20年度の68.1%を上回った。

◆CAN to CAN率67.0%

この率は、国内で再生利用されたUBCのうちアルミ缶材に再生利用された割合。計算式＝缶材向け重量164,422トン／国内再生利用重量245,262トンで＝67.0%となった。20年度は71.0%。

CAN to CAN率



缶材向け重量

164,422<sup>トン</sup>

67.0%

国内再生利用重量

245,262<sup>トン</sup>

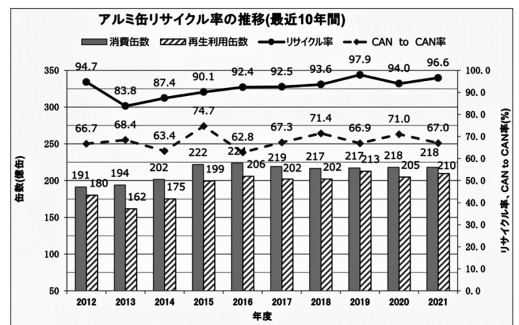
= 67.0%

<2020度71.0% >

◆22年需要予測 ビール押され気味

一方、22年度のアルミ缶の需要・出荷量予測では、ビール系が引き続き微減となり、以外のアルコールに押される傾向が続きそうだ。ビール系は98.1%、以外は104.9%で、アルコール合計では前年比100%。

非アルコールは99%。ボトル缶は101.4%と微増するが、その後は横ばいの予想。輸出入を加味した総需要量はほぼ横ばいの217.8億缶、前年比100%とみられている。



# 故銅市況

前週末23日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,231.50ドルより140.50ドル高の7,372.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,304.00ドルより129.00ドル高の7,433.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,255.00ドルより138.00ドル高の7,393.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,322.00ドルより130.50ドル高の7,452.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の9月限は、前営業日の329.85セントより5.10セント高の334.95セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の8月限は、前営業日の5万6,490元より40元安の5万6,450元。

週明け25日の東京為替市場TTSレートは、前週末の138.34円より0.71円の円高ドル安、1ドル=137.63円。23日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,372.00ドル。この値と25日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の103万8,000円より1万4,000円高の105万2,000円。この日、電気銅建値は105万円に据え置かれた。

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(7月22日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ビカ線が806～811、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは771～776、並銅は736～746、込銅（高品位＝約97％）は726、セバは600～605。コーペルは要り用筋で541、それ以外は526ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋551、それ以外521～531どころの値頃。並青銅鋳物削粉は644～649どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ビカ線が786～806、上銅新くずが751～771、普通上銅が726～746、2号銅線が718～738、並銅が716～736、込銅（94-97％）が664、込銅（90-93％）が666、下銅が335～385、セバが565～600、コーペルが481～526、黄銅棒地が476～521、黄銅削粉が471～516、黄銅ラジが436～444、交叉ラジが414～471、黄銅銅鋳物が427～434、送りが247～266、上青銅鋳物が641～661、並青銅鋳物が621～636、上青銅鋳物削粉が636～656、並青銅鋳物削粉が611～631どころ。

## アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

### 関東地区（7月後半）

2S=215円～235円、63S=199円～250円、アルミホイール(1P)=111円～225円、ビス付サッシ=77円～86円、エンジンコロ=100円～108円、込合金(機械鋳物)=83円～91円、缶プレス(ソフト)=56円～66円。

### 関西地区（7月後半）

2S=197円～200円、63S=200円～235円、印刷版=190円～193円、アルミホイール(1P)=176円～186円、ベースメタル=144円～148円、機械鋳物=86円～89円、ダライ粉=65円～68円、ビス付サッシ=83円～98円、缶プレス=73円～78円。

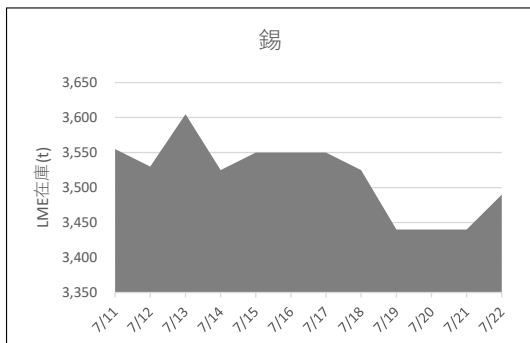
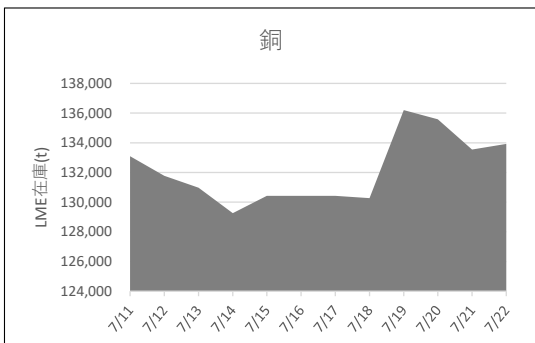
## 為替動向

22日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0030ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0220ドル～1.0230ドルで推移した。この日発表された米国の7月PMI速報値は、総合が47.5と前月から低下、2020年5月以来の低水準になった。景況感の悪化で米国でのリセッション懸念が高まりドル売りが強まった。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0090ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2030ドル～1.2040ドルで推移した。

22日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続伸した。前日と比べ1.30円の円高ドル安、1ドル=136.00円～136.10円で取引を終えた。米国の7月PMI速報値が総合で47.5と2年2か月ぶりの低水準になった。高インフレが景気を押し下げるとの懸念が高まっている。米国の経済指標悪化を受け、円買いドル売りが優勢になった。円は一時135.58円と2週ぶりの高値を付けた。

25日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。8時30分、前週末17時と比べ1.21円の円高ドル安、1ドル=136.37円～136.39円だった。22日に発表された米国の7月PMI速報値がおおよそ2年ぶりの低水準となった。景気後退への警戒感が高まるなか、前週末の海外市場で円は135.58円近辺とおおよそ2週間ぶりの高値水準に上昇する場面があった。この流れを引き継ぎ東京市場でも円買いドル売りが優勢となっていた。ただ、25日は決済集中日のため国内輸入企業を中心に実需筋のドル需要もあって円の上値は重かった。円は対ユーロで上昇。同じく0.34円の円高ユーロ安、1ユーロ=139.14円～139.16円だった。

## LME認定倉庫在庫推移 7月11日～7月22日(現地)





LME銅相場は反発 直物終値は7,433.00ドル  
 COMEX銅相場も反発 SHFE銅相場は反落  
 LME非鉄相場は全面高 欧米の大幅利上観測や後退、リスク資産に買い戻しの動き



23日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、7月22日入電の7,231.50ドルより140.50ドル高の7,372.00ドル。反発して1.94%高。この週5.31%の上伸。7月に入って10.59%の下落。3か月物の前場売値は、7月22日入電の7,255.00ドルより138.00ドル高の7,393.00ドル。反発して1.90%高。この週5.54%の上伸。7月に入って10.33%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地7月21日の13万3,550トンより375トン増の13万3,925トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、7月限が、7月22日入電の330.20セントより4.65セント高の334.85セント。反発して1.41%高。この週3.52%の上伸。7月に入って9.85%の下落。8月限は、7月22日入電の330.45セントより4.65セント高の335.10セント。反発して1.41%高。この週3.54%の上伸。7月に入って9.74%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、中心限月に当たる8月限が、7月22日入電の5万6,490元より40元安の5万6,450元。反落して0.07%安。この週3.39%の上伸。7月に入って12.07%の下落。9月限は、7月22日入電の5万6,380元より120元安の5万6,260元。反落して0.21%安。この週3.25%の上伸。7月に入って12.15%の下落。

**錫も反発**

LME錫相場の前場売値は、直物が、7月22日入電の2万4,475.00ドルより225.00ドル高の2万4,700.00ドル。反発して0.92%高。この週4.66%の上伸。7月に入って8.69%の下落。3か月物の前場売値は、7月22日入電の2万4,100.00ドルより50.00ドル高の2万4,150.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.21%高。この週3.43%の上伸。7月に入って9.55%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地7月21日の3,440トンより50トン増の3,490トン。

**鉛も反発**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、7月22日入電の1,996.00ドルより9.00ドル高の2,005.00ドル。反発して0.45%高。この週4.16%の上伸。7月に入って5.14%の上伸。3か月物の前場売値は、7月22日入電の1,994.00ドルより7.00ドル高の2,001.00ドル。反発して0.35%高。この週5.45%の上伸。7月に入って4.33%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地7月21日の3万9,175トンよりトン減の3万9,175トン。

**亜鉛も反発**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、7月22日入電の3,005.00ドルより40.00ドル高の3,045.00ドル。反発して1.33%高。この週4.25%の上伸。7月に入って6.35%の下落。3か月物の前場売値は、7月22日入電の2,937.00ドルより41.00ドル高の2,978.00ドル。反発して1.40%高。この週4.20%の上伸。7月に入って7.86%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地7月21日の7万2,825トンより350トン減の7万2,475トン。

**アルミも反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、7月22日入電の2,426.00ドルより34.00ドル高の2,460.00ドル。反発して1.40%高。この週6.01%の上伸。7月に入って2.63%の上伸。3か月物の前場売値は、7月22日入電の2,425.00ドルより32.50ドル高の2,457.50ドル。反発して1.34%高。この週5.20%の上伸。7月に入って1.51%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地7月21日の31万7,275トンより万4,100トン減の31万3,175トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、7月22日入電より横ばいの1,710.00ドル。この週横ばい。7月に入って10.94%の下落。3か月物の前場売値は、7月22日入電より横ばいの1,710.00ドル。この週横ばい。7月に入って10.94%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、7月22日入電より横ばいの2,323.00ドル。この週横ばい。7月に入って7.85%の下落。3か月物の前場売値は、7月22日入電より横ばいの2,327.00ドル。この週横ばい。7月に入って7.29%の下落。

**ニッケルも反発**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、7月22日入電の2万1,200.00ドルより330.00ドル高の2万1,530.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.56%高。この週12.72%の上伸。7月に入って6.80%の下落。3か月物の前場売値は、7月22日入電の2万1,250.00ドルより425.00ドル高の2万1,675.00ドル。3営業日ぶりの反発で2.00%高。この週13.78%の上伸。7月に入って5.88%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地7月21日の6万0,984トンより222トン減の6万0,762トン。

LME公示価格(US\$)／7月22日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,372.00	24,700.00	2,005.00	3,045.00	2,460.00	1,710.00	2,323.00	21,530.00
	前営業日比	140.50	225.00	9.00	40.00	34.00	0.00	0.00	330.00
	週間増減比	5.31%	4.66%	4.16%	4.25%	6.01%	0.00%	0.00%	12.72%
先物	公示価格	7,393.00	24,150.00	2,001.00	2,978.00	2,457.50	1,710.00	2,327.00	21,675.00
	前営業日比	138.00	50.00	7.00	41.00	32.50	0.00	0.00	425.00
	週間増減比	5.54%	3.43%	5.45%	4.20%	5.20%	0.00%	0.00%	13.78%

海外非鉄金属相場

(7月23日 入電・現地 7月22日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NYコメックス相場) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for LME (円ベース/キロ) and COMEX prices for various metals like copper, tin, lead, zinc, aluminum, and nickel.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table showing US producer prices for silver (EH社, HH社) with prices and changes.

■NY相場

Table showing NY market prices for copper and tin.

■ロンドン相場(ドル)

Table showing London market prices for various metals like gold, antimony, bismuth, cadmium, indium, selenium, sponge titanium, ferro molybdenum, cobalt, magnesium, and tantalum.

■KLT M錫(MYR/KG、出来高トン)

Table showing KLT M tin prices for 22-day and 25-day contracts, including exchange rates and prices.

■LME在庫(トン)

Table showing LME inventory for copper, tin, lead, zinc, aluminum, and nickel.

■上海在庫(トン)

Table showing Shanghai inventory for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table showing LME pre-market prices for copper, tin, lead, zinc, and aluminum.

■上海相場

Table showing Shanghai market prices for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

※25日のKLT Mは取引がありません。

Table for COMEX and Shanghai prices with exchange rates (元・円 = 20.51).

非鉄金属製品相場

(7月26日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1360	1350	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1410	1400	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1490	1550	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1730	1550	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1640	1460	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1270	1320	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1325	1365	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm ◆31.1~◆33.1
銅線0.9ミリ	1350	1380	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq ◆85.1~◆90.5
銅帯6×50	1280	1320	〃 大板1ミリ	720	685	14sq ◆212~◆225
銅平角線	1550	1550	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1130	1155	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 ◆1617~◆1719
〃 0.3ミリ	1160	1185	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 ◆2490~◆2647
黄銅大板2×1×2	1280	1335	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 ◆4180~◆4443
黄銅管	1785	1635	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 ◆2610~◆2769
復水器用黄銅管	1755	1605	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 ◆3639~◆3861
黄銅棒快削25ミリ	905	990	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西~関東)
六角棒	935	1020	貴金属(一般小口向け)			3C×2 ◆127~◆130
四角棒	965	1050	白金(グラム)	◆4272		4C×2 ◆171~◆175
鍛造用	945	1030	パラジウム(グラム)	◎9905		6C×2 ◆242~◆248
ネーバル	1045	1130	金(グラム)	◆8380		7C×2 ◆276~◆283
高力	1045	1130	銀(キログラム)	◆92180		合金鉄 5月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1305	1335				フェロマンガ2%以上炭素含有 234
黄銅平角線ロール仕上	1505	1545	レアメタル輸入価格	5月通関 (CIF)		〃 その他 339.9
黄銅条1.5×100	1125	1170	金属ケイ素(99.99%未満)	525		フェロシリコン55%以上 316
リン青銅板一般用1.0ミリ	2750	2940	モリブデン酸化物	3934		フェロクロム4%以上炭素含有 303.6
〃 バネ用0.3ミリ	3030	3230	タンタル	59294		フェロモリブデン純分60%以上 4001
リン青銅棒25ミリ	2840	3050	マグネシウム	651		フェロバナジウム 4803
リン青銅線3ミリ	3240	3450	コバルト	10348		フェロニッケル33%未満 982.8
洋白板一般用1.0ミリ	3790	3920	インジウム	29785		電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3950	4070				

減摩合金	7月19日改定	合金地金	7月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4980	BC 1種	1290
2種	4835	2種	1635
3種	4690	3種	1725
4種	4115	6種	1415
5種	3925	7種	1525
7種	1375	YBSC 3種	1135
8種	1200	LBC 3種	1665
9種	1020	PBC 2種	1750



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(7月25日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		42,000 ~ 44,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
山元建値			電気銅	1050(22)	金	7,582(25)		
( ) 実施日			電気鉛	336(25)	銀	82,730(25)		
			電気亜鉛	472(20)	錫(99.99%)	4,900(14)		
1トン以上外税持込				高値	安値	高値	安値	
1 号 銅 線	953	963	電 気 銅	◆1020	◆1015	◆1022	◆1017	
2 号 銅 線	911	—	電 気 亜 鉛	444	438	444	438	
上 銅 ( 新 切 )	924	928	蒸 留 亜 鉛	432	426	432	426	
雑 ナ ゲ ッ ト	784	790	再生ダイカスト亜鉛2種	363	357	363	357	
並 銅	866	857	再 生 亜 鉛 (98%)	315	309	315	309	
下 銅	847	830	電 気 鉛	◎308	◎305	◎308	◎305	
銅 削 粉	841	833	再 生 鉛 1 号	◎291	◎281	◎291	◎286	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	◎296	◎292	◎296	◎292	
新 切 黄 銅 セ バ	722	719	錫 1 号	3600	3550	3600	3550	
コ ー ペ ル	689	677	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950	
黄 銅 棒 地	673	665	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3000	2950	3000	2950	
黄 銅 削 粉	667	661	コ バ ル ト	◆9300	◆9000	◆9300	◆9000	
並 黄 銅	628	633	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	504	484	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	576	584	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550	
黄 銅 鑄 物	633	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580	
山 送 り (55%)	334	—	アルミ地金 99.70 %	◎381	◎377	◎383	◎379	
上 青 銅 鑄 物	730	—	アルミ二次地金 99 %	◆305	◆300	◆305	◆300	
並 青 銅 鑄 物	728	716	〃 90 %	◆273	◆268	◆273	◆268	
上 青 銅 鑄 物 削 粉	723	—	アルミ二次合金ADC12	432	427	435	430	
並 青 銅 鑄 物 削 粉	713	704	鑄 物 用 C2BS	457	452	459	454	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	960	青 銅 合 金 地 金 3 種	1600	1590	1630	1620	
〃 ( 鑄 物)	844	—	〃 6種	1300	1290	1305	1295	
リ ン 青 銅 削 粉	762	751	ハ ン ダ 錫 60 %	3305	3265	3325	3295	
新 切 洋 白 (電 子 材)	774	758	〃 50 %	2850	2800	2870	2840	
新 切 亜 鉛	223	223	〃 40 %	2455	2395	2410	2380	
ダ イ カ ス ト く ず	188	188	減 摩 合 金 2 種	4800	4770	4805	4775	
亜 鉛 ド ロ ス	166	177	〃 4 種	4080	4055	4085	4055	
上 鉛	◎144	◎142	〃 7 種	1355	1305	1355	1305	
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	27	27	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		105	105	
活 字 鉛	◎129	◎126		〃 ダライ粉		90	90	
新 切 ア ル ミ 1 級	237	239		高耐食ステンレスSUS316		260	260	
新 切 サ ッ シ 1 級	237	237		耐熱ステンレスSUS310		465	465	
新 切 合 金 1 級	222	217		13クローム 新切		24	28	
機 械 鑄 物 1 級	150	155		ハ イ ス 9種		220	220	
ピ ス 付 サ ッ シ P	173	170						
合 金 削 粉 P	95	100						
込 ガ ラ P	90	92						
カ ン ・ バ ラ	160	161						


非鉄金属材料相場面  
PW:KINZOKU2207